



室小だより

茅ヶ崎市立室田小学校

令和8年度 9月号

校長 村越 さゆり

学校教育目標

豊かな心を持ち、主体的・創造的に行動する子の育成

～ やさしく かしく たくましく ～

前期後半が始まりました

長かった夏休みが終わり、今日から学校が再開しました。今年は44日間と充実した期間だっただけに、子どもたち一人ひとりが様々な経験を積み、成長した姿を見せています。大きな事故等の報告もなく家庭・地域の皆様の温かいご支援に心から感謝申し上げます。

教室では久しぶりに会った子どもたちの声が響き、学校が息を吹き返しました。夏休み前の関係性にすぐ戻ってほっとする子、照れ隠しをする子と様々ですが、互いに受け止め合い、会話を楽しんでいます。残暑厳しい日々が続きますが、熱中症予防を徹底してまいります。9月は前期のまとめの時期。子どもたちがじっくり学校生活に取り組めるよう、支援してまいります。

「はきものをそろえる」という詩

前期前半終了のお話朝会で、「はきものをそろえる」という詩を紹介しました。長野市の円福寺住職・藤本幸邦氏の作です。自分の靴をそろえられる人は、心が穏やかで、自分の行動を冷静に考え、他の人の気持ちも考えることができます。お互いに気持ちのよい生活ができるようになるでしょう。学校でも子どもたちが落ち着かないときは、教室を掃除したり整理整頓したりすることを心がけています。「はきものがそろろうと 心もそろろう」という効果があるのですね。

茅ヶ崎市いじめ防止サミットの開催

今年も市内全小中学校参加のいじめ防止サミットが8月28日に開催しました。昨年度は、茅ヶ崎市役所議場でテーマを決定し、今年度はそのテーマを基に各学校の取り組みを、中学校区別に共有するため室田小学校の代表4名が松林小学校に集合しました。13会場校をオンラインでつなぎ、各グループの話し合い内容を市内全体で共有。積極的に意見を発言する子どもたちもいて、頼もしい協議となりました。本校から参加した4名も、取り組んだ様子を報告しました。各校の発表や協議には、「いじめ防止」につながる確かな言葉が数多く見られました。本校の取り組みにつなげるよい機会となりました。

いじめ防止基本方針

本校のホームページの「いじめ防止基本方針」の項目をご覧ください。本校の基本方針に加え、茅ヶ崎市いじめ防止対策調査会・茅ヶ崎市教育委員会からの「もし、子どもがいじめられたら／いじめたら」の概要版と詳細版を掲載しています。学校は、「子どもが自信を持って、安心してこれからの人生を歩むこと」を最終目標に取り組みます。日常生活でお子様が悩んでいる等の不安があれば、すぐに担任や他の教職員にご相談ください。学校はチームで、教育委員会とも情報共有しながら対応します。

校長室前には、一人で抱えこまないための確認材料として、子どもたちが気づけるよう「心のコップのお話」を掲示しています。子どもたちに対して「いじめ」は絶対してはいけないと指導するのはもちろんですが、子どもたちが互いを認め合える人間関係・学校風土を、子どもたちとともに作り出していきたいと考えています。教職員も丁寧な関わりに留意して、未然防止に努めてまいります。